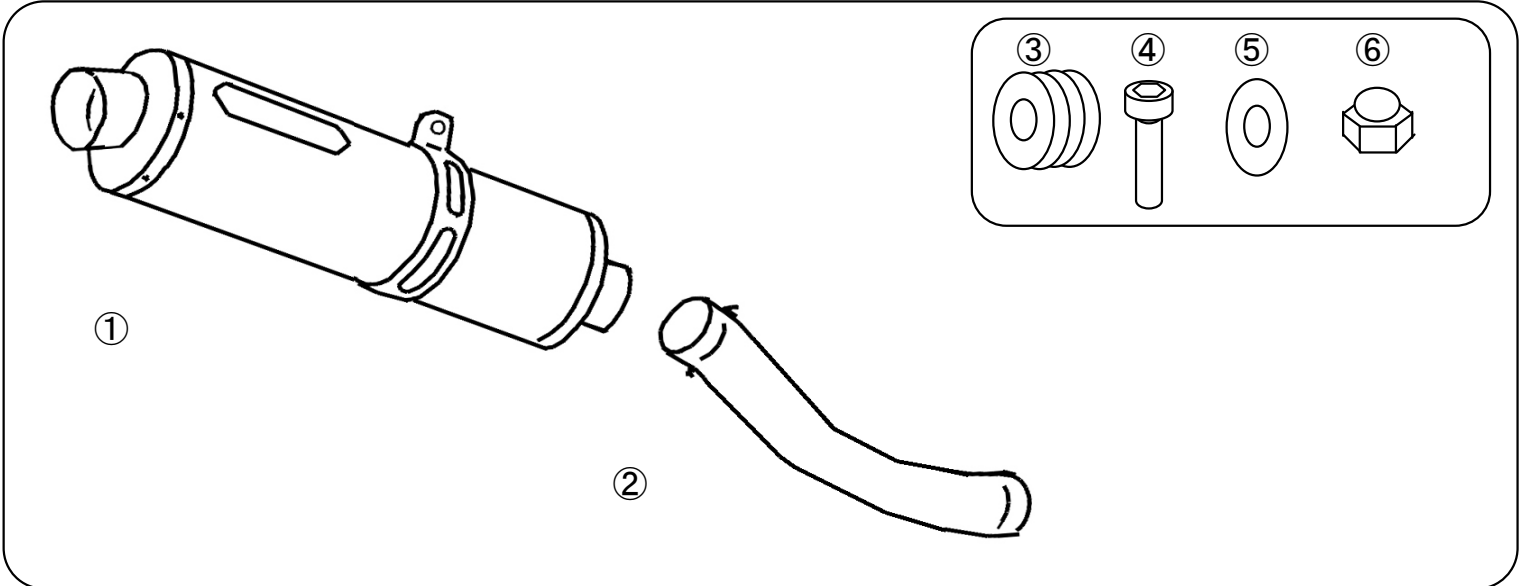


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。このマフラーは、ブライト社扱いのZ800(ZR800A/東南アジア)用の商品です。その他の機種(車両型式・仕向け地)に関しては、取り付け確認及び車検対応の確認を行っていませんのでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。

**※当マフラーは純正触媒がそのまま残る仕様の為、車検の際に排ガス試験成績証明書等は必要なく付属しておりません。**

**車検の際、純正触媒の位置等の説明が必要な際はサイレンサーに添付の純正触媒使用確認書をご利用下さい。**



### 1) 純正マフラーの取り外し

純正のマフラーガード及びマフラー(サイレンサー)を取り外します。取り外しの際の純正クランプバンドはノジママフラーを取り付ける際にも使用しますので紛失にご注意下さい。

※マフラー・その他純正パーツの脱着方法に関してはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従って作業を行ってください。

※排気デバイスのケーブルを取り外す際、車体側サーボモーターを無理に動かさない様に注意してケーブルを取り外して下さい。無理に動かすとエラーの原因になる場合があります。

### パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
①	サイレンサー & バンド	1
②	テールパイプ	1
-	スプリング	2
③	カラー	1
④	ボルト M10-75	1
⑤	ワッシャー M10	1
⑥	袋ナット M10	1

### 2) テールパイプの取付け

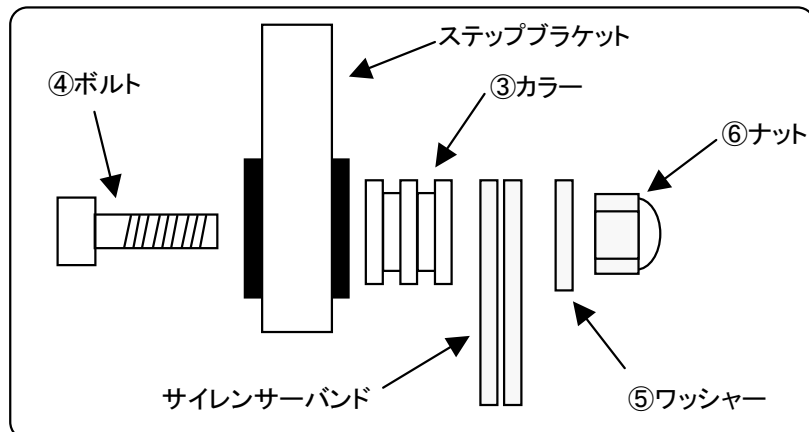
②テールパイプを純正パイプに差し込み純正クランプバンドで仮留めします。

※差込部のガスケットは当マフラーでは使用しません。(必要に応じてシリコンボンド等をご使用下さい)

### 3) サイレンサーの取付け

サイレンサーをテールパイプに差し込み、③カラー・④ボルト・⑤ワッシャー・⑥ナットを用いてサイレンサーバンドで仮留めし、スプリングを掛けます。④ボルトが差込み難い場合はブラケット側のラバーブッシュを一度取り外してボルトを通し、一緒にブラケットに差し込みます。

マフラー各部に無理な力が掛かっていないこと、車体各部との干渉がない事を確認し、必要があれば調整を行いながら仮止めしたボルトナットを本締めします。締め込み具合により車体とのクリアランスが変化しますので、注意して下さい。最後に純正のクランプバンドでテールパイプ差込み部を本締めします。



※図は車体後方から見た図です。模式図の為、ボルト・ナット等の形状が実際とは異なります

※サイレンサー差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を薄く塗布する事をお勧めします。

※スプリングはペンチ等を用いて作業すると折損の原因になりますので、必ずスプリングフック等をご使用下さい。

#### 4)最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。

#### 5)セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(より突き詰めてセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)



- グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブラせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)  
グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品は純正触媒を取り外しませんので、排気ガス検査成績書は付属していません。
- 転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB:<http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL:[info@nojima-japan.co.jp](mailto:info@nojima-japan.co.jp)

NT629SGTD  
130409